

日本を支える夢の学校プロジェクト

～子どもが変われば大人も変わる～

1 はじめに

私たちが住んでいる日本には多くの障がいを持った方、高齢の方が暮らしています。しかし周りを見てみると、まだまだこのような方が生活しやすい環境とは言えません。では、今後どのような事を行なっていけば良いのでしょうか？

2 心のバリアフリーとユニバーサルデザインについて

まず、皆さんは心のバリアフリーとユニバーサルデザイン（以下UDと呼びます。）を知っていますか？

【心のバリアフリー】

心のバリアフリーとは、障害を持った方に対し「偏見」や「差別」を持つことなく、誰もが平等に地域の中で生活する。また、困っている方がいたら声を掛けたり、手伝ったりといったソフト面の事をいいます。

【UD】

バリアフリーと似ていますが、一点だけ大きな違いがあります。それは、バリアフリーが建物の完成後にバリアを取り除く事。それに対しUDは設計の段階からバリアを作らせない。どちらもバリアを作らないという点は一緒ですが、障害者目線やコスト面を考えるとUDの方が良いと考えています。

3 これまでの活動と提案

今回、子どもを対象としたUD学校の設立を提案します。UD学校の設立を提案した理由として、私たちが行なっている活動と大きく関係しています。

現在私たちは大分県の委託事業として毎年UD出前授業を行なっています。授業内容として以下の通りです。

【UD出前授業】

UDについての説明

プロジェクターを使用し行ないます。



実際の体験談や車椅子駐車場・トイレについての講演を行ないます。



車椅子・リフト付き車両体験

実際に乗っていただき車椅子を操作したり、リフト車両の乗車を体験してもらいます。



普段の生活で中々体験できない事に対し、生徒はとても興味を持ってくれるようです。しかし、授業は年に1度。しかも毎年受ける事ができるとは限りません。では、どのような事を行なえば、生徒は更にUDについて学ぶ事ができるのでしょうか？

【UD学校の設立】

UDについて興味を持ってくれた生徒を対象としたUD学校の設立を以下の内容で提案します。

1 目的

UDに興味がある生徒に対し学ぶ場を提供。実際に障害当事者と触れ合っただき更に興味を持っていただく。また親にも参加してもらい、親と子が一緒に学んでいただく。

講座日程

2ヶ月に1度、年に6回行う。

講座内容（案）

障害当事者による講演（身体障害・視覚障害・聴覚障害等）

自分自身の障害や、日常生活を送る上で困ったことを話してもらう。

障害者スポーツの視察・体験。（車椅子バスケット・車椅子マラソン・ボッチャ等）

障害者スポーツの見学。その後実際に体験してもらう。

介助体験

車椅子・買い物・調理・食事の介助を実際に行なってもらう。

意見の発表（プレゼンテーション）

講座で学んだことを活かし新たなアイデアや講座を行なってみての感想を発表してもらう。

上の～以外にも楽しく福祉について学んでいただける様なプログラムを企画する。

5 最後に

子どもは私たち大人にはない発想やアイデアをたくさん持っています。このUD学校を設立する事により、更なる福祉の発展が期待できると考えています。また、私自身障害を持っているという事もあり、子どもたちと共に成長していけたらと考えています。